

**OL Summary:** **I.** エホバは、預言者エレミヤを通して、牧者たち、支配者たちに関して語りました。**A.** 牧者たち、支配者たちは、エホバに背きました。彼らはエホバを求めなかったため、彼らの群れは散らされました。**B.** 牧者たちは、エホバの牧場の羊を滅ぼし、散らしました。**C.** エホバが約束したのは、ご自身の羊の群れの残された者を集め、彼らの牧場に連れ戻すということと、彼らの上に牧者たちを起こして彼らを牧養させて、彼らが繁殖し増殖することです。**D.** エホバは、ご自身の心になつた牧者たちをイスラエルに与えることを約束しました。このような牧者たちは、神に対する正確な知識と英知を神の民に与えます。

**II.** 旧約も新約も、神の心になつた牧者としてのキリストを啓示しています。**A.** キリストは大能の方、支配し裁く方として、牧者となるために来ます。キリストは、ご自身の羊を支配し矯正することによって、またご自身の羊の群れを養い、彼の御腕に小羊を集め、彼の懐に抱いて行き、幼子に乳を飲ませる者たちを導くことによって、ご自身の羊の群れを顧みます。**B.** エゼキエル 34: 11~31 は、主ご自身が牧者として来て、ご自身の羊を捜し、尋ね出すことを予言しています。主は牧者として、諸国民からご自身の民、ご自身の羊を集め、彼らをカナンに連れ戻し、高い山々に住まわせます。カナンの地は、神の民の割り当てられた分け前としてのすべてを含むキリストを予表し、高い山々は、復活し昇天したキリストを表徴します。主イエスは牧者として来て、私たちに顧みる時、王としても来て、私たちに統治します。主が私たちの牧者として私たちに顧みることの結果は、私たちが王としての彼に従って、彼の王職の下に、また私たちの内側にある彼の御座の下に来るようになるということです。**C.** キリストは良い牧者、大牧者、牧者の長、私たちの魂の牧者です。主イエスが良い牧者として来たのは、私たちが命を得、しかも豊かに得るためです。彼は、ご自身の魂の命、人の命を捨て、ご自身の羊のために贖いを完成しました。それは彼らが彼のゾーエの命、彼の神聖な命にあずかるためです。彼はご自身の羊を囲いから連れ出して、牧場、養う場所としてのご自身の中へと導きます。そこにおいて彼らは自由に彼を食べ、彼によって養われます。主はユダヤ人信者と異邦人信者たちをご自身の牧養の下で、一つの群れ(召会、キリストのからだ)へと形成しました。神は「永遠の契約の血による羊の大牧者である私たちの主イエスを死人の中から復活させました。永遠の契約は新しい遺言の契約であって、群れ、すなわち召会を得るためであり、その結果は、キリストのからだであり、新エルサレムにおいて究極的に完成します。主は大牧者として、新しい契約の内容を私たちにとって実際とならせつつあり、またヘブル人への手紙において啓示されているすべての積極的な事柄の経験と享受の中へと私たちに導きつつあります。キリストは牧者の長として、諸召会の長老を通してご自身の群れを牧養します。長老が牧養することがなければ、召会は建造されることができません。長老が牧養することは、キリストが彼らを通して牧養することであるべきです。霊なるキリストは私たちの魂の牧者として、私たちの内側の状態を監督し、私たちの内なる存在の状態を顧みます。彼は、私たちの魂の幸いを顧みることによって、また私たちの内なる存在の状態を監督することによって、私たちに

牧養します。私たちの魂はとても複雑なので、私たちの霊の中の命を与える霊であるキリストが、私たちの魂の中で私たちに牧養することと、また私たちの思い、感情、意志と、私たちの問題、必要、傷を顧みることとを、私たちは必要とします。主は私たちの魂の牧者として、私たちの魂を回復し、私たちの魂に安息を与えます。未来の永遠において、キリストは私たちの永遠の牧者となって、私たちに命の水の泉に導きます。永遠におけるキリストの牧養の下で、涙もなく、飢えることもなく、渴くこともなく、享受だけがあるようになります。

**III.** 主イエスは彼の天の務めにおいて、ご自身が地上の務めにおいて開始した牧養を継続しています。**A.** 主は、ヨハネ 21: 15~17 において、ご自身が天にいて地上にいない間、ご自身の小羊を養い、ご自身の羊を牧養することをペテロに託しました。この事は、使徒の務めとキリストの天の務めを合併して、神の羊の群れを牧養することでした。牧養に関して、使徒の務めは、キリストの天の務めと協力します。**B.** 使徒パウロは、キリストの天の務めにおける牧養と協力して、聖徒たちを牧養する模範です。パウロが聖徒たちを牧養したのは、養う母として、また勧めをする父としてでした。パウロがエペソの聖徒たちを牧養したのは、彼らを「公にも、また家から家でも」教えることによってであり、また三年の間、聖徒たち一人一人を涙をもって訓戒して、彼らに神のみこころをすべて言い表すことによってでした。パウロは、彼の心が広げられて、命を供給するうえでの親密な心遣いを持ちました。パウロは弱い者たちの水準に下って来たので、彼らを得ることができました。パウロは召会を愛する者として、召会を愛するキリストとの一の中にあり、進んで聖徒たちのために彼が持っていたもの(彼の財物を指す)と、彼であるもの(彼の存在を指す)とを費やして、キリストのからだを建造しました。

**IV.** 神の群れを牧養する者たちは、神にしたがって牧養すべきです。**A.** 神にしたがって牧養することは、神が彼の属性において何であるかにしたがって牧養することです。**B.** 神にしたがって牧養することは、神の性質、願望、方法、栄光にしたがって牧養することであって、私たちの好み、興味、目的、個性にしたがって牧養することではありません。**C.** 私たちは、神にしたがって牧養するために、命、性質、表現、機能において神となる必要があります。私たちは、キリストの複製、神の表現となる必要があります。それは、私たちが牧養するとき、神を表現するためであって、個性と特異性を伴う自己を表現することがないためです。私たちは神の機能において神となり、神が何であるかにしたがって、また神のエコノミーの目標にしたがって、神の群れを牧養する必要があります。私たちは神と一になるとき、命と性質において神となり、人を牧養することにおいて神です。

**V.** キリストのからだを建造する牧養は、相互の牧養です。**A.** 牧養することは、すべてを含む、優しい顧みを群れに与えることです。**B.** すべての信者は、彼らの霊的な成長がどの段階にあったとしても、牧養を必要とします。**C.** 私たちはみなキリストの有機的な牧養の下にいて、彼と一になって人を牧養する必要があります。**D.** 私たちは御父の愛し赦す心にしたがって、また御子の捜し、見だし、牧養する霊にしたがって神の群れを牧養する必要があります。**E.** 私たちは羊であり、また牧者でもあって、相互に牧養し、牧養されます。この相互の牧養を通して、からだは愛の中でそれ自身を建て上げます。

**CP1:主イエスは牧者として、御父の選びに従って、**

**あなたを捜し出された。彼は今も、牧者として顧みている**

**OL1:**キリストは大能の方、支配し裁く方として、牧者となるために来ます。キリストは、ご自身の羊を支配し矯正することによって、またご自身の羊の群れを養い、彼の御腕に小羊を集め、彼の懐に抱いて行き、幼子に乳を飲ませる者たちを導くことによって、ご自身の羊の群れを顧みます。**エレミヤ 3:15**私はあなたがたに、私自身の心になつた牧者たちを与える。彼らは知識と英知をもってあなたがたを養う。**イザヤ 40:11**彼は牧者として彼の羊の群れを養い、彼の御腕に小羊を集め、彼の懐に抱いて行く。彼は幼子に乳を飲ませる者たちを導かれる。

**OL2:**主は牧者として、諸国民からご自身の民、ご自身の羊を集め、彼らをカナンの地に連れ戻し、高い山々に住ませます。カナンの地は、神の民の割り当てられた分け前としてのすべてを含むキリストを予表し、高い山々は、復活し昇天したキリストを表徴します。

過去、私たちは、福音や神の言葉に聞き従おうとしない粗野な人であったかもしれませんが、しかし、イエスは彼の支配において、ある事を行なって私たちを規制されました。彼の規制することは、彼の牧養することです。私たちの多くは、イエスの規制によって救われました。彼の規制は私たちを牧養して羊の群れの中にもたらし、正しい道を行かせ、正しい歩調に調整します。彼は私たちが調整して、速すぎたり遅すぎたりしないようにし、羊の群れの歩調に合わせるようにさせます。

私たちは罪人として墮落していた時、あるいは後退する者となった時、諸国民の間で異邦人のように生きていました。私たちは地上の何十億もの人々の間で未信者のように生きていましたが、主イエスは私たちを捜し出し、諸国民の中から、未信者の中から連れ出してくださいました。あなたは他の多くの人の間で学校の教師であったかもしれませんが、あなただけが主イエスによって捜し出され、連れ戻されました。彼はその時、あなたを異邦人と異なるものとされました。以前あなたは未信者と同じでしたが、ある日、牧者である主イエスがあなたを捜し出し、未信者の間から連れ出して、ご自身にもたらしられました。

主イエスが私たちを顧みる私たちの牧者であるので、私たちは自分の問題について、あるいは自分の生活について、心配すべきではありません。むしろ、私たちは彼に信頼することを学ぶ必要があります。一日の終わりに、私たちの牧者である主に祈るのはとても良いことです。形式的で宗教的な方法で長く祈る必要はありません。ただこのように言ってください、「**主イエスよ、私があなたの顧みの下にあることを感謝します。今私は寝るところです。どうか来て、私を顧みてください。**」そのような単純な祈りで十分です。あなたは朝起きる時、「**主よ、私がおもあなたの顧みの下にあることを感謝します**」と言います。宗教的になって、主が自分を守ってくださるよう、自分のために他の多くのことを行なってくださるよう求める必要はありません。もしあなたが宗教的な方法で祈るなら、主はこう言われるかもしれません、「子よ、私はあなたが何を必要としているかを知っている。あなたの時間を浪費してはならない。…ただ私の顧みを享受しなさい」。主イエスは真に私たちの牧者です。…どこに行っても、どこで働いても、私は彼の牧養する顧みの下にありました。

**適用:新人及び青少年・大学生編**

何十億人もの人の中から、主イエスは牧者として、御父の選びに従って、あなたと私を捜し出されました。他のあなたの周りの多くの人々を、主は探されませんでした。あなたが、あなたを捜し出されました。このことを考えるとき、あなたは不思議に思うでしょう。そして主にひれ伏し、救いの恵みのゆえに主に感謝し、賛美するでしょう。

**兄弟の証し:**私は救われる前、何かに立候補して人々に選ばれる経験がほとんどありませんでした。「どうせ選ばれないので」と考え、徐々に消極的になり、無気力になっていきました。学校の成績も小学一年から徐々に下がり続け、高校受験と大学受験も失敗しました。大学一年の5月13日(主日)に福音を聞き、主に出会い、次の主日5月20日にバプテスマされました。救われた後、自分が永遠の過去に御父によって選ばれ、御父の選びに基づき、羊飼いである主が彼の贖いを根拠に私を探し、聖霊は御父の選びと御子の贖いを根拠に、私の内側をくまなく照らし私を探し出したことを知りました。私は自分の下降し、人に選ばれない18年間の歴史を思い出しました。「なぜ、何の取柄もない私を、神は選び、主は捜し出されたのでしょうか?」と不思議に思いました。詩歌128番は言います:

- |     |          |         |
|-----|----------|---------|
| 1.  | 不思議な恵み、  | 御前で思う!  |
|     | 墮落した我、   | なぜ救うや?  |
|     | この世むさぼる  | 罪の我を、   |
|     | 主は尋ねだし、  | 愛で包む。   |
| 2.  | 罪に縛られ、   | 苦しむ我、   |
|     | 願わないのに、  | 主は尋ねる   |
|     | なが声聞けど、  | なれを無視し、 |
|     | なが敵となり、  | さからうのみ。 |
| 3.  | 我罪のため、   | 十字架で死に、 |
|     | 我に平安を、   | 与えたもう   |
|     | 多くの罪と    | 肉に生きる   |
|     | この我をなぜ、  | 主は愛すや?  |
| 5.  | 何の長所もない  | 我のために、  |
|     | 主は御座離れ、  | 命捨てる!   |
|     | 主よ、自分には  | なが目を引き、 |
|     | 愛されるもの   | 一つもなし!  |
| 12. | 主よ、なが心、  | 理解し得じ、  |
|     | 不思議に思いつ、 | 礼拝する。   |
|     | 天の幸福にも   | 心向けず、   |
|     | わが神、わが主、 | 歌い、賛美す。 |

その後大学3年の時、訪問先の台中にある召会の集会所のベランダで献身の祈りをしました。その時、自分自身と自分の全生涯を主に捧げました。私はこの献身の祈りを時々忘れましたが、主は覚えておられ、今日まで、私を毎日導いて来られ、これからも導かれます。主は私の牧者です。ハレルヤ! 主を賛美します!

**祈り:**「**おお主イエスよ、何十億人もの人の中から、御父は私を選んでくださいました。そして主イエスは牧者として私を捜し、聖霊は私の心の中をくまなく照らし、私を捜し出し、召会にもたらしってくださいました。三一の神の驚くべき顧みに感謝します。主イエスは牧者として、今も私を顧みてくださるので、私はどこに行っても、どこで働いても、自分の問題、自分の生活について、心配する必要はありません。牧者である主に信頼することを学びます。アーメン!**」

**CP2: 自分の霊を活用し思いを霊に付けて、魂の命を呑み、  
キリストを複雑な魂を顧みる牧者として経験する**

**OL1:**キリストは良い牧者、大牧者、牧者の長、私たちの魂の牧者です。**OL2:**私たちの魂はとても複雑なので、私たちの霊の中の命を与える霊であるキリストが、私たちの魂の中で私たちを牧養することと、また私たちの思い、感情、意志と、私たちの問題、必要、傷を顧みることを、私たちは必要とします。

**ヨハネ10:10** 私が来たのは、羊が命を得、しかも豊かに得るためである。**11** 私は良い牧者である。良い牧者は羊のために自分の命を捨てる。**I ペテロ2:25** あなたがたは羊のようにさまよっていましたが、今は、あなたがたの魂の牧者また監督者に立ち返ったのです。

羊は神聖な命を持つ再生された人です。私たちはみな神聖な命によって生き、こうして、本物で、真の、純粋な羊にならなければなりません。…群れが生み出され、守られ、維持され、形成されるのは、神聖な命によります。兄弟たちが和合して共に住むのは何とすばらしいことでしょう。しかしながら、和合して住むとは、神聖な命の中に住むことを意味します。主を賛美します。神聖な命の中で、私たちは真に一であり、互いに愛し合います。これは私たち人の、シューケの命の中では不可能であり、ただ神聖な、ゾーエの命の中でのみ可能です。私たちがこのゾーエの命を受けるのは、シューケの命を捨てられた私たちの牧者によって完成された贖いを通してです。彼は彼のシューケの命を犠牲にして、私たちすべてのために贖いを完成し、私たちが彼を私たちのゾーエの命として受けるようにしてくださいました。

疑いもなく、体は多くの問題を私たちに与えます。それにもかかわらず、私たちの実際の問題は私たちの魂にあります。私たちの思い、感情、意志にはすべて問題があります。未信者は魂の中でさまよう者であり、彼らを顧みる牧者を持っていません。しかし私たちは、私たちの魂を顧みる牧者を持っています。

私たちは経験において、何について考えたらよいのかわからない時があります。私たちは自分の考えをどこに向けたらよいのかわかりません。これは、私たちの思いが牧者としての主イエスを必要としていることのしるしです。私は何度もこのような状況の中で、主イエスが私にとって牧者であったことを証しすることができます。彼の牧養の結果、私たちの思いは方向づけられ、正しい道に置かれます。

私たちの感情は、複雑になって容易にいら立ちます。これは特に姉妹たちの感情についてはそうです。ですから、私たちは主イエスに、私たちの感情を牧養していただく必要があるのです。彼の牧養は私たちの感情を慰めます。

人として、私たちは正しい決定をするのが難しい時が多くあります。ときどき、するのが最も難しい事は、決定をすることです。未信者は決定をするとき、彼らを導き案内する人を持っていません。しかし私たちは、私たちを導き案内する牧者を持っています。主の導きと案内はおもに、私たちの意志と関係があります。生ける牧者として、主は絶えず私たちの意志を方向づけられます。

**適用: ビジネスパーソン・大学院生編**

**ヨハネ10:11FN「自分の命」:**ギリシャ語は「シューケ (psyche)」、魂。すなわち魂の命です。主は人として、

シューケの命、人の命を持っておられ、神として、ゾーエの命、神聖な命を持っておられます。彼はご自身の魂、シューケの命、人の命を捨てて、彼の羊のために贖いを達成されました。それは、彼らが彼のゾーエの命、彼の神聖な命(10 節)、永遠の命にあずかり、それによって一人の牧者である主ご自身の下で、一つの群れへと形成されるためです。

聖書は、人の魂の命と神の永遠の命を区別していません。魂の命はシューケであり、神の永遠の命はゾーエです。この区別は、霊的経験において極めて重要です。若いビジネスパーソンと研究者は、シューケ、魂の命を区別してください。そして、シューケ、魂の命を捨てることによってのみ、ゾーエ、神の命を人に供給することができることを理解してください。なぜなら、人の霊の中のゾーエの命は、魂に囲まれているので、魂の命は否まれなければ、霊の中の神の命は出て来られないからです。

魂の命を呑むことができれば、魂は征服されて、魂の機能は更新され、引き上げられます。そして魂の機能は、主によって用いられるようになります。ビジネスパーソンはシューケ、魂の命を呑み、ゾーエ、神の永遠の命によって仕事をするを学んでください。例えば、あなたは朝毎の復興をして主を享受しても、日中、実際のビジネス上の決定では、魂が複雑になり、さまよい悩み、決定できない、あるいは、慌てて間違った決定をしてしまいます。

**I コリント2:11** いったい人の事柄は、人の中にある人の霊のほか、人の間でだれが知っているでしょうか? 同じように、神の事柄も、神の霊のほかにはだれも知りません。**14** しかし魂の人は、神の霊の事柄を受け入れません。なぜなら、彼にとって、それは愚かであるからです。また彼は、それを知ることができません。それは、霊によって識別されるものだからです。**16** だれが主の思いを知って、彼に教えるでしょうか? しかし私たちは、キリストの思いを持っています。ビジネスにおいても、心の中で主の御名を呼び、自分の霊を活用し、主と交わり、思いを霊につけてください。これらの実行は熟練するには時間がかかりますが、学ぶことは決して難しいことではありません。実行しながら少しずつ前進することは、容易で、誰でもできます。「難しいのでできない」というあなたの古い観念の病いが癒されますように! 思いを霊につけて、ビジネス上のプロジェクトを検討すれば、キリストの思いをもって、決定することができます。重要な点は、古い習慣に抵抗して、主の御名を呼ぶこと、短く祈ることを日々実行することです。筋トレをすることはとても簡単です。しかし、それを毎日実行し、習慣づけることは難しいです。霊の訓練も同じです。この霊の訓練により、あなたの思い、感情、意志は調整され、あなたにキリストの思いを持たせ、ビジネスライフと奉仕を引き上げ、あなたを祝福します。霊を訓練して、キリストを魂の牧者として経験してください。

**祈り:**「おお主イエスよ、シューケ、魂の命を呑み、ゾーエ、神の永遠の命によって仕事をするを学びます。主の御名を呼ぶこと、短く祈ることを日々実行し、霊を訓練します。『難しいのでできない』という魂の古い観念の病いを癒してください。私の霊の中の命を与える霊であるキリストは、私の複雑な魂を牧養し、癒すことができます。思いを霊につけて、ビジネス上のプロジェクトを検討し、キリストの思いをもって、決定することができますように。」

**CP3:キリストの天の務めに協力して、  
神に従って神の群れを牧養する**

**OL1:**主イエスは彼の天の務めにおいて、ご自身が地上の務めにおいて開始した牧養を継続しています。

**OL2:**神の群れを牧養する者たちは、神にしたがって牧養すべきです。ルカ 15:4 あなたがたのうちに、百匹の羊を持っている者がいて、その一匹を失ったなら、九十九匹を荒野に残しておき、失ったその一匹を見つけるまで捜しに行かないだろうか? 5 そして、それを見つけたなら、喜んでそれを自分の肩にかつぎ、

あなたは私を牧養し、私はあなたを牧養します。…これは相互の牧養です。

人を牧養するとき、私たちはまず彼らをはぐくんで幸いにし、次に彼らを養うべきです。このような養いが、真の牧養です。主は彼の復活の後、彼の昇天の前に、彼の弟子たちと共にとどまっていた時、彼のいくつかの現れのうちの一つにおいて、ご自身が天にいて地上にいない間、ご自身の小羊を養い、ご自身の羊を牧養することをペテロに託しました。牧養することは養うことを暗示しますが、養いよりも多くのものを含みます。牧養するとは、すべてを含む、優しい顧みを群れに与えることです。

私たちには、世の人、最悪の人を愛するそのような愛する霊がありません。私たちは人を分類して、良い人を選びます。…人を分類してはいけません。だれが、彼らがどのようになるかを告げることができるでしょうか? 私が十八か十九歳で[母親の目を盗んで]マージャンをしていた時、このマージャンをしていた者が長年の後アメリカに腰を落ち着けて、主について人々に語るようになることを、だれが思ったのでしょうか? だれが私をここに連れて来たのでしょうか? それは、天のはしごとしてのキリストでした。

私がマージャンをしていた時、[ユー牧師が]毎週私の所に来ました。…最終的に、十二月の末に、彼は言いました。「…私は来週、あなたの所に来ません。新年が終わるまで待ちます」。…中国の新年の二日目は、腐敗、ギャンブル、あらゆる種類の娯楽の日です。その日に…私は、「ユー牧師の教会に行く」と言いました。…そして私はその宗派の教会に行きました。それは、私がはじめて天のはしごを上った時でした。キリストは、罪人や取税人でいっぱいの家に行かれました。バイタルグループ、同労者、長老は、このような霊、すなわち世の人を愛する神の霊、最悪の家に行くキリストの霊を取って、人を獲得し、彼らを天のはしごとしてのキリストの上に置いて、彼らが彼の上を上るようにすべきです。

パウロは言いました、「『キリスト・イエスは罪人を救うためにこの世に来られた』という言は信実であって、全く受け入れるに値します。私はその罪人のかしらです」(I テモテ 1:15)。…彼はキリストに反逆しましたが、彼が反逆していた時、キリストは彼を打ち倒し、召して、救いました。イエスご自身が言われました、「丈夫な人には医者はいらない。いるのは病んでいる人である。…私が来たのは、義人を招くためではなく、罪人を招くためである」(マタイ 9:12-13)。…私たちが長老、同労者、奉仕者であったとしても、もしこのような霊を失うなら、私たちはおしまいです。これが、私たちがこんなにも不毛で、何年もの間、実を結んでいないおもな理由です。

**適用:奉仕者編**

リー兄弟は、「同労者、長老、主を愛する者、主を追い求める者に対する愛の言葉」の本の中で、奉仕者たちに、父なる神の愛し、赦す心と救い主キリストの牧養し捜す霊が欠けていることを指摘されました。

リー兄弟が18、19歳の頃、母親の目を盗んで、マージャンをする者でした。しかし、そのような人をユー牧師は毎週訪問しました。また、ルカ15章には放蕩息子の救いがあり、23章には犯罪人の救いがあります。主と一緒に十字架につけられた犯罪人でさえ救われました。

ルカ15:14 彼がすべて使い果たした時、その国全体にひどい飢きんが起り、彼は乏しくなり始めた。16 彼は、豚が食べていたいなご豆で飢えを満たしたいと切に思ったが、だれも彼に何も与えなかった。17 彼は本心に立ち返って言った、「私の父が雇っている多くのしもべたちには、パンがあり余っているのに、自分はここで飢えて死のうとしている!」…20 こうして彼は立って、父の所に帰って来た。ところが、彼がまだ遠く離れていたのに、父は彼を見て深く同情し、走り寄って彼の首を抱き、愛情を込めて口づけした。

**FN「彼を見て」:**これは、偶然に起こったものではありません。父は放蕩息子の帰りを待ちわびて、家から出ていました。

**FN「走り寄って」:**父なる神は走って、戻って来る罪人を迎えました。何という強い切望を見せていることでしょう!23:32 またほかに、二人の犯罪者が、処刑されるためにイエスと一緒に引かれて行った。33 彼らが「どろ」と呼ばれる場所に来た時、そこで人々はイエスを十字架につけ、犯罪者たちも、一人を右に、一人を左につけた。34 その時、イエスは言われた、「父よ、彼らをお赦しください。彼らは自分が何をしているのか、わからないのですから」。…35 民衆はそばに立って見ていた。支配者たちもあざ笑って言った、「彼は他人を救った。もしこれが神のキリスト、あの選ばれた者であるなら、自分で自分を救ってみよ!」…39 そこに掛けられていた犯罪者の一人は、彼を冒とくして言った、「おまえはキリストではないのか? 自分自身と私たちを救え!」。40 ところが、もう一人が答えて、彼をたしなめて言った、「おまえは同じ裁きを受けていながら、神を恐れぬのか? 41 われわれは自分のやったことの報いを受けているのだから当然だ。しかし、この方は何も悪いことをしていない」。42 そして彼は言った、「イエスよ、あなたがあなたの王国に入られる時、私を覚えてください」。43 イエスは彼に言われた、「まことに、私はあなたに言う。今日あなたは、私と一緒にパラダイスにいる」。

ヨハネ3:16 神はそのひとり子を賜ったほどに、世の人(墮落した人)を愛された。

祈り:「おお主イエスよ、父なる神の愛し、赦す心と救い主キリストの牧養し捜す霊をもって、牧養していないことを赦してください。私は自分の選択に従って牧養し、神に従って牧養していないことを悔い改めます。主イエスは彼の天の務めにおいて、ご自身が地上の務めにおいて開始した牧養を継続しておられます。キリストの天の務めに協力して、世の人、最悪の人を愛し、彼らと食事をし、牧養します。主よ、召会に残る実を与えてください。アーメン!」